

ライブラリー・commons誕生

Library Commons



学生の自主的な学習を支援するための施設が須磨キャンパス図書館に完成しました

神戸女子大学は、建学の精神に基づき「自立心に富み、対話力と創造性にすぐれ、人類社会の発展に貢献する女性を育成する」という教育目標を掲げています。本学では、この目標を具体的に実現するための取り組みとして、平成25年度文部科学省「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」の「建学の精神を生かした大学教育の質向上」による補助金を得て、学生が積極的に学習できる施設「ライブラリー・commons」を須磨キャンパス図書館

1階に整備し、平成26年4月から利用できるようになりました。

「ライブラリー・commons」は、気軽に教員に学習相談や個別指導を受けることができ、個人が静かに学習することももちろん、一方では会話をしながらグループ学習にも利用できるスペースとして毎日、多くの学生が利用しています。この施設は次の3つのコーナーから構成されており、学生が積極的に学ぶ姿勢を支援しています。

① 学習支援センター ② 共用自習コーナー ③ ランゲージ・カフェ

吹き抜けのカーテンウォールにより自然の光がたっぷりと降りそぐ室内は、明るく外の景色が自然に目に入る憩いの場所としても最適です。

「ライブラリー・commons」の広々とした3つのコーナーには、使用目的・人数によって組み合わせが自由にできる机が多く配置され、女子大学らしい優しい雰囲気の中で落ち着いて学習できるように配慮しました。

また、無線LANが整備され、パソコンやタブレット機器も接続でき、インタラクティブホワイトボード(電子黒板)などの最新の学習設備も導入しています。



○ライブラリー・commons取り組み責任者のメッセージ

神戸女子大学 副学長(家政学部教授) 平田 耕造

神戸女子大学の魅力の一つとして学生と教員の距離が近く、学業以外にも生活や将来のことなど、なんでも気軽に話することができるという「風土」があると思います。その「風土」を具体的に実現する場所として誕生したのがライブラリー・commonsです。

学生同士の学びあいの場であるとともに、学生の勉学に教員がより積極的に関わり、教員と気軽に話し合える環境が整ったことに、大きな喜びを感じています。

大学教育では、1単位の認定にあたり15時間の講義に対して同じ時間の予習および復習が必要とされています。しかし、実際にはこれだけの授業以外の学習時間を確保することは、難しいのではないかと思います。そこで、この施設が学生の皆さんのキャンパス内の学習できる場として大いに活用されることを期待しています。また、ライブラリー・commonsはその名のとおりに、図書館内に誕生しました。専門書がすぐ近くに配架されている環境は自習するのにも最適です。図書館本来のもつ知的な空間にライブラリー・commonsのくつろいだ雰囲気は大いに役に立ててください。

ライブラリー・commonsの明るく開放的な空間では、教員に学習相談をしている学生、一人静かに本を読む学生、講義内容について議論しているグループ、外国人の教員と会話している学生、留学生に日本のことを説明し、本国の大学の事情を尋ねている学生など様々な風景を目にすることができます。ライブラリー・commonsで繰り広げられる場面は、それを通りすがりに見る学生にとってもいろいろな活動に対するモチベーションを高める効果があるはずで、教員と学生、あるいは学生同士で思わぬ出会いや輪が広がっていくことでしょう。

学生の皆さんには、この場所を大いに利用して、知識を確実に身につけ、教養を高め、社会に出たときは、積極的に提案し行動できる社会人になってほしいと思います。本学の建学の精神である社会に貢献できる有為な女性として活躍できるように、ライブラリー・commonsが能力を十分に発揮するための基礎力を培う場所となることを願っています。



オープニング・セレモニー

平成26年3月28日(金)に、行吉 誠之理事長、神戸女子大学 中島 實学長、部局長、学習支援センター準備室委員、改装に関わった関係者の方々も出席してオープニング・セレモニーが行われました。

行吉理事長、平田副学長のオープニングの挨拶に続き、改装工事を行ったコーナン建設株式会社、備品を整えた伊藤喜商事株式会社の担当者の方から各コーナーの設備についての説明がありました。



オープニング・セレモニーと内覧会の様子

1

学習支援センター

学生の学ぶ力と意欲を育てる手助けを積極的に行うことが目的のコーナーです。

基礎科目(数学・化学・生物・物理)の理解不足を補いたい、学力のアップを目指したいと考えている学生が、気軽に教員に相談し助言が受けられます。教員の待機ブースがあり、現在は2名の教員が日替わりで担当し、個別相談に応じています。

「数学」・・・尾崎 守(火・金)

「理科」(化学・生物・物理)・・・安田 邦夫(月・木)



学習する学生たち。奥ではミニ講義が行われている

個別相談は予約制になっており、学生は授業のない空いた時間を利用して、担当の教員から丁寧な指導を受けています。就職試験対策、公務員試験対策、教員採用試験対策、授業の予習・復習などの目的で個別相談に来ていますが、「楽しく、そしてよくわかる」「わからなくなって解答をあきらめた問題に、再度チャレンジできた」といった感想が聞かれます。

パソコン画面を投映したボード上で、書き込みやデータ保存が

できるインタラクティブホワイトボードを使用し、教員と学生が活発に意見交換が行えるようになっていました。またグループ学習においても、学生同士がデータを共有したり課題について考えたりすることが容易になり、学習理解や教育効果を高めています。基礎学力の向上を目指すために「基礎科目ミニ講座」も開催し、予約制で少人数対象の学習支援も行っています。今後、学生からの要望も取り入れて、科目内容を増やしていく予定です。



数学の個別相談を受ける学生と尾崎守講師



物理の個別相談を受ける学生と安田邦夫講師

平成26年度前期に開催された「基礎科目ミニ講座」日程表

数学:尾崎 守講師

理科(化学・物理):安田 邦夫講師

理科(生物):安田 邦夫講師

	講座内容	開催日時
1	割合と比	5月30日(金) 13:00~14:00
2	面積と体積	6月6日(金) 14:40~15:40
3	順列と組み合わせ	6月10日(火) 10:40~11:40
4	確率	6月27日(金) 10:40~11:40
5	数列	7月8日(火) 13:00~14:00

	講座内容	開催日時
1	力と運動	5月22日(木) 10:40~11:40
2	電気のはたらき	6月2日(月) 13:00~14:00
3	天体の運動	6月19日(木) 13:00~14:00
4	物質の種類	6月23日(月) 10:40~11:40
5	化学反応	7月3日(木) 14:40~15:40

	講座内容	開催日時
1	細胞とは何か? -しくみとはたらき-	6月5日(木) 13:00~14:30
2	免疫のシステム	6月12日(木) 13:00~14:30
3	臓器とその機能	6月26日(木) 13:00~14:30

※理数系の科目は、短期間では実力がつきにくいので、長期にわたって継続的に学習できるよう、後期も引き続き講座を開催します。

2

共用自習コーナー



一人で勉強が落ち着いてできる窓辺の席



組み合わせが自由な扇形の机

共用自習コーナーも目的や人数に応じて机・椅子の組み合わせが自由にできるようになっています。グループで大型ポスターや発表資料の作成などの共同作業にも活用しています。

このコーナーには、今後、自習する学生の利用頻度が高い書籍などを取り揃える計画をしています。書架に囲まれたこのコーナーは落ち着いて勉強したい学生に好評です。

3

ランゲージ・カフェ

グローバル化に対応した学生を育成する場として期待されています。

外国人の教員によるミニ講義が行われたり、留学を終えた学生たちが、留学中に学んだことを確かめ合い、今後の学習に生かすための場になっています。会話が弾むことを考えて円形にセットすることが可能な机が配置され、留学を検討している学生が留学体験を気軽に尋ねられるなど、海外に関心の高い学生が交流の場として活用しています。

留学に関する資料や書籍が配架され、学部、学科を越えて、「留学」「国際交流」をキーワードに新しい友人や仲間が作られる場にもなっています。また、外国人教員の待機ブースもあり、外国語で会話できる機会も設けられています。

このコーナーはライブラリー・commonsでカフェ気分が味わえるように丸テーブルにゆったりした椅子が配置され、学生がくつろげる癒しの場にもなっています。



トーマス・ガリックソン講師によるミニ講義の様子



先輩と後輩で情報交換



飲み物を側にゆったり利用する学生たち

国際交流推進事務室も移転

海外研修・留学を支援する「国際交流推進事務室」もライブラリー・commonsの開設にあたり移転しました。

国際交流推進事務室では、教育・研究における国際交流の推進を図るとともに、学生の海外派遣及び留学生の受け入れに関する事務手続きなどを行っています。海外留学に興味のある学生は、まずこの場所を訪ねて全般的な相談をしたり、詳細な説明を受けたりします。

事務室がカウンターで区切られた場所にあり、気軽に相談ができるため、毎日多くの学生でにぎわっています。



海外留学の相談に来た学生